



府六だより

府中市立府中第六小学校

9月号

令和6年9月2日

(児童数 715名)

校長 小林 邦子

2学期のスタートにあたって

校長 小林 邦子

長い夏休みが終わり、子供たちが元気な顔で学校に戻ってきました。猛暑や南海トラフ地震臨時情報、台風など、災害への備えの大切さを痛感した夏休みと夏休み明け。また、今年25回を迎えた防災キャンプでは、本校につながる皆様の高い防災意識と、子供たちに価値ある体験をさせたいという思いを深く感じました。さあ、子供たちは2学期をどんな風に過ごしたいと思っているのでしょうか。

2学期も友達や先生と仲よく
楽しく過ごしたい

1学期に苦手だった学習を
頑張りたい

わくわく自然教室や日光移動教室、
学年の行事を思い出に残る
ものにしたい

けがや病気をしないで元気に
過ごしたい



新しいことに挑戦して自分の力を
伸ばしたい

学校のいいところは、友達や先生方など、多くの人のよさに出会えること。一人ではできないことも協力し合ってやり遂げられること。いろいろな知識や感じ方、考え方を知り、周りの人と折り合いをつけ、ものの見方・考え方を広げられることだと思います。1学期が土台づくりとすれば、2学期は実りの時期。夏休み前によくできていたことは続け、自分も学級も1学期よりさらに成長できるように、どんなことに力を入れるか考えて取り組みましょう。

学校では、①分かりやすい授業の工夫、②自分も相手も気持ちのよいあいさつ、時間やきまりを守ること、整理整頓、③縦割り班活動やいじめ防止の取組の充実、④学校HPIによる発信に力を入れていきます。2学期は、5・6年生の宿泊行事を含め、子供たちが活躍する行事がたくさんあります。主体的に考え、行動し、豊かな学びをしてほしいと思います。引き続き、保護者・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【災害に備えて】「学校防災の日」は臨時休校になりましたが、防災キャンプや一連の対応を通じて、災害時の対応への理解が深まったことと思います。特に防災キャンプでは、おやじの会の皆様を中心に大勢のスタッフによる様々な企画・体験を行っていただきありがとうございました。

府中市で大規模地震（震度5弱以上）が発生した場合、在校中であれば学校からの連絡の有無にかかわらず児童は引き渡しになります。登下校中に大規模地震が発生したらどうするか（自宅に帰るか、学校に行くか）、通学路で危険な箇所はどこか、災害用伝言ダイヤルをどう活用するか、本校の防災マニュアル概要版の確認とともに、ご家庭でぜひご相談ください。



【青少年五地区サミット（8月29日（木））のご報告】

本校と新町小学校、明星中学校、府中第五中学校の代表児童・生徒がグループになり、「生活しやすい学校・地域にするために～学校同士で、地域と学校でできること～」を話し合いました。

児童・生徒が考えた生活しやすい学校・地域とは、つながりやあいさつが盛んで、安全、きれいであること。

学校同士、地域と学校の取組の一例として、「4校と地域共通の合言葉を作り、連携を深める」「ポスターによる交流」「地域清掃と一緒に取り組む（地域清掃五地区オールスターズ）」「五地区スポーツ大会や互いの運動会に参加」「地域の方と危険箇所や学校110番のマップ作り」「あいさつ運動の交流」などが出されました。できたらいいなと考えたことを一つずつ実現したら、学校も町もよりよく変わり、愛着が深まります。

これからも地域の学校として協力し合い、魅力ある学校と町を作っていけたらと思います。